

祝 なでしこ寺子屋 七周年！

平成二十六年九月に開講してより七年、多くの皆様のまごころのお陰で楽しく寺子屋を続けることができました。心より感謝申し上げます。

特別寄稿【わが子に笑顔を】

竹田 和由

子育てで、わが子に何をしてあげればいいのか？ あれこれ考えてしまいますが、まず一番にしていたきたいのは、『笑顔』です。なぜなら、わが子は私たちが『笑顔』にするために生まれてきたのですから。『笑顔』をくれたわが子に『笑顔』を投げ返し、またわが子も『笑顔』になるのです。

そもそも人間は何のために生まれてきたのでしょうか。神様の願いからして、人間は『幸せ』になるために生まれてきたはずです。親心としても、わが子に『幸せ』になってほしいと願うのは当然ですよ。

それでは、『幸せ』とは何でしょう。それは理屈ではなく、『幸せ』と感じていること、今そのときこそが『笑顔』です。つまり、人間は『笑顔』になるために生まれてきたと言っているように。

そして、『笑顔』は明るく温かい光です。聖書では、神様は天地創造の最初に「光あれ」と言いました。また、日本神話の「天照大御神」は太陽神です。太陽の光によって命が生まれ育ちます。子育てにおいてこの光にあたるのが『笑顔』です。植物が光合成によって養分を作り蓄え育つように、わが子に明るい『笑顔』を与えてください。オリンピックメダリストの『笑顔』がメダルの輝きよりもまぶしかったように。

和歌コーナー



てらこやで しぜんきようしつ

がまのはな こしよばかったよ たのしかったよ

年中 K・M

☆がまのはなをはじめてみて、うれしかったね。

ひまわりが いえのちかくに さいていた

がまのはなとは ぜんぜんちがう

一年 N・Y

☆自然教室で見たがまの花、びつくりしましたね。

がまのはな ながかたくて そとがふわふわ

さきつちよがながくて ふしぎだなあ

一年 K・Y

☆ながいのがおばなで、ふわふわのところをめば  
なだなんて、ふしぎですね。

がまのはな まるでやきとり くしぎしだ

ふわふわしていて へんなかんじだ

家の中 ダンボールでいっぱいだ

引っこしするから ばたばたしてる

小学四年 K・S

☆翔平君が長野に引っ越しになり、さびしいです。  
また、ぜひ、遊びにきてね。

習字でね 「歌声」という字をかいた

思った以上に むずかしかった

小学五年 N・E



☆集中して、堂々とした字を書いていますね。

☆歩道橋 歩いていると あせをかく

入道雲が たちのぼる空

中学三年 Y・Y

☆入道雲を見ながら歩道橋を昇って行ったのね。

今月の言葉

万葉集 卷六・一〇四二

市原王

一つ松

幾代か経ぬる

吹く風の

声の清きは

年深みかも

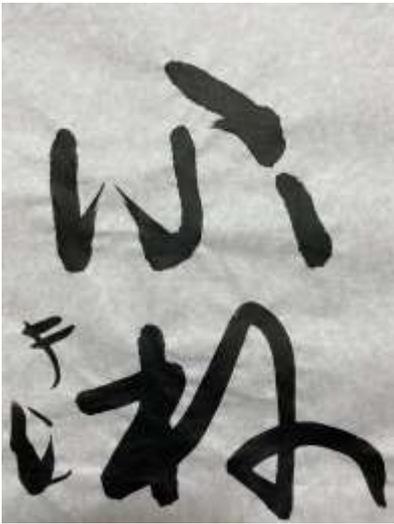


この一本の松は、幾代も経ているのであろうか。吹き抜ける風の音がいかにも清らかなのは、幾多の年輪を経ているからなのか。

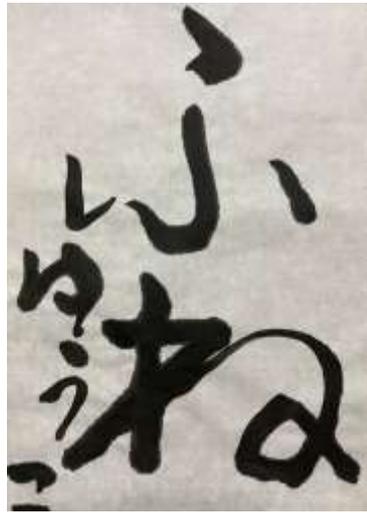
次のなでしこ寺子屋は

十一月二十七日(土) 六階六〇一室です。

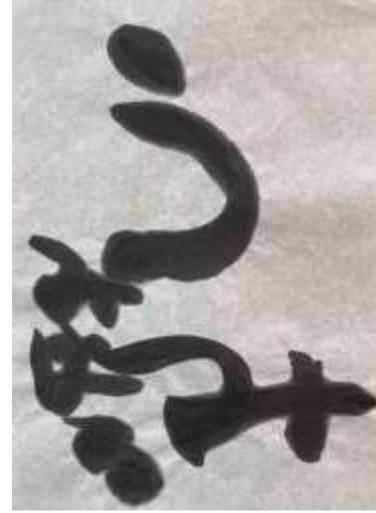
お楽しみに♪



1年 K・Y



1年 N・Y



年中 K・M

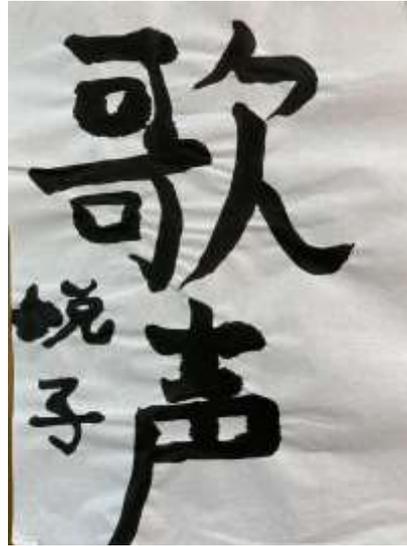
Mちゃん 筆にたっぷり墨をつけて、半紙いっぱい大きく書けましたね。楽しく書けてよかったです。

Yさん 筆を立てて、のびのびとした線で、紙いっぱいに書いています。おおらかで素直な線です。

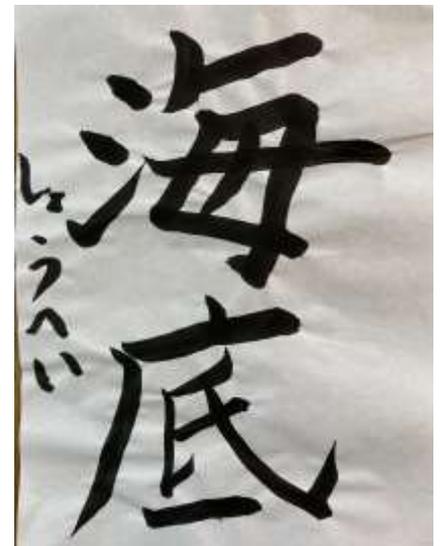
Y君 自信を持って、大きな気持ちでのびのびと書いています。「ね」の字の線、生き生きしています。



中2年 Y・Y



5年 N・E



4年 K・S

S君 「海」は線に勢いがあり、堂々としています。筆を立てて、伸びやかに書けましたね。

Eさん 「歌」は、大きな気分で、伸びやかに書いています。始筆、終筆がしっかり書けています。

Y君 線質が良く、高僧の書のような風格があります。筆を立て一線一画をていねいに書き、美しい。

※ 運営をお手伝い下さる方は、十二時半集合です。よろしくお願い致します。

子育てで悩んだ時も  
問題にぶつかった時も  
古事記に解決のヒントが  
ちゃんと示されています  
日本の心―和の心を知る  
生きる知恵のお話です♪  
お子さんも一緒にどうぞ♪  
楽しみにおいでくださいね。



勤労会館

(JR三ノ宮徒歩五分)  
(阪急三ノ宮徒歩十分)

伊藤八郎氏



「古事記と日本の心」

午後一時半～三時半

十月十六日(土)

生命の教育講演会

